

【文化と地域創生】 地域音楽コーディネーターが 各拠点をつなぐ役割を担う

渡辺行野

文京学院大学

2026年7月5日(日) 11:20~12:20

地域音楽コーディネーター養成講座【オンライン7月】

公益財団法人 音楽文化創造

目次

1.文化活動と地域創生

- ・地域音楽コーディネーターの役割
- ・音楽を通じた地域コミュニティの再構築
- ・世代・背景を超えた競争と文化的基盤の形成

2.教育との連携

- ・地域における音楽活動の現状と課題
- ・地域で育む音楽文化の土壌づくり
- ・地域資源の発掘と活用

3.ふじみ野市の文化活動事例

- ・地域文化クラブの取組
- ・包括連携によるネットワーク構築と持続可能性
- ・ステラ・ウェストホール活用プロジェクト
「アートと人 つながる・つどう」 「青の世界」

4.音楽を軸としたひとづくり・まちづくり

- ・好循環を生み出す地域文化の形成と還元
- ・地域音楽コーディネーターに求められる資質

5.展望：市民参画と共生社会の実現に向けて

【文化活動による地域創生は…】

“社会の活力を維持”し“豊か”にすることを可能にする取組み

【地域音楽コーディネーター】

- 担う役割はきわめて重要
- 音楽という普遍的な言語を通して、
 - 世代や背景を超えた人々をつなぐ
 - 地域コミュニティの絆を強化

地域と音楽が出会うとき

【人との繋がり：共通の体験による絆の形成】

現在は部活動の地域展開
開→地域のスポーツ・
文化芸術環境の整備

※この改革期における音楽活動は人々を繋ぎコミュニティの基盤を強化

【音楽体験：感動と共感を生み出す】

音楽は、社会的な橋渡しの役割→演奏する喜び・聴く感動・共に創り上げる達成感
は心を繋いでいく→地域に新たな活力をもたらす可能性

【地域活性化：文化的土壌の醸成と発展】

地域音楽コーディネーター→これらの活動を効果的に結びつけることができる→持続可能な文化環境を創出する役割

社会と音楽の接点を創る

【世代や背景を超えた交流】

- ・ 社会と音楽を結びつける活動→人々の生活の質の向上
- ・ 地域社会の結束力の強化
- ・ 芸術活動→地域の活性化に不可欠な要素

【教育的な発展】

- ・ 学校のリソースと地域の文化資源を融合させる取り組みへ
- ・ 地域の連携は子どもたちに多様で豊かな芸術体験を与える
- ・ 地域住民にとっても生涯学習の機会が拡大

【文化的基盤】

- ・ 異なる背景を持つ人々に相互理解と尊重の文化を
- ・ 社会的価値を最大化
←地域音楽コーディネーターの役割



地域における音楽活動の現状と課題

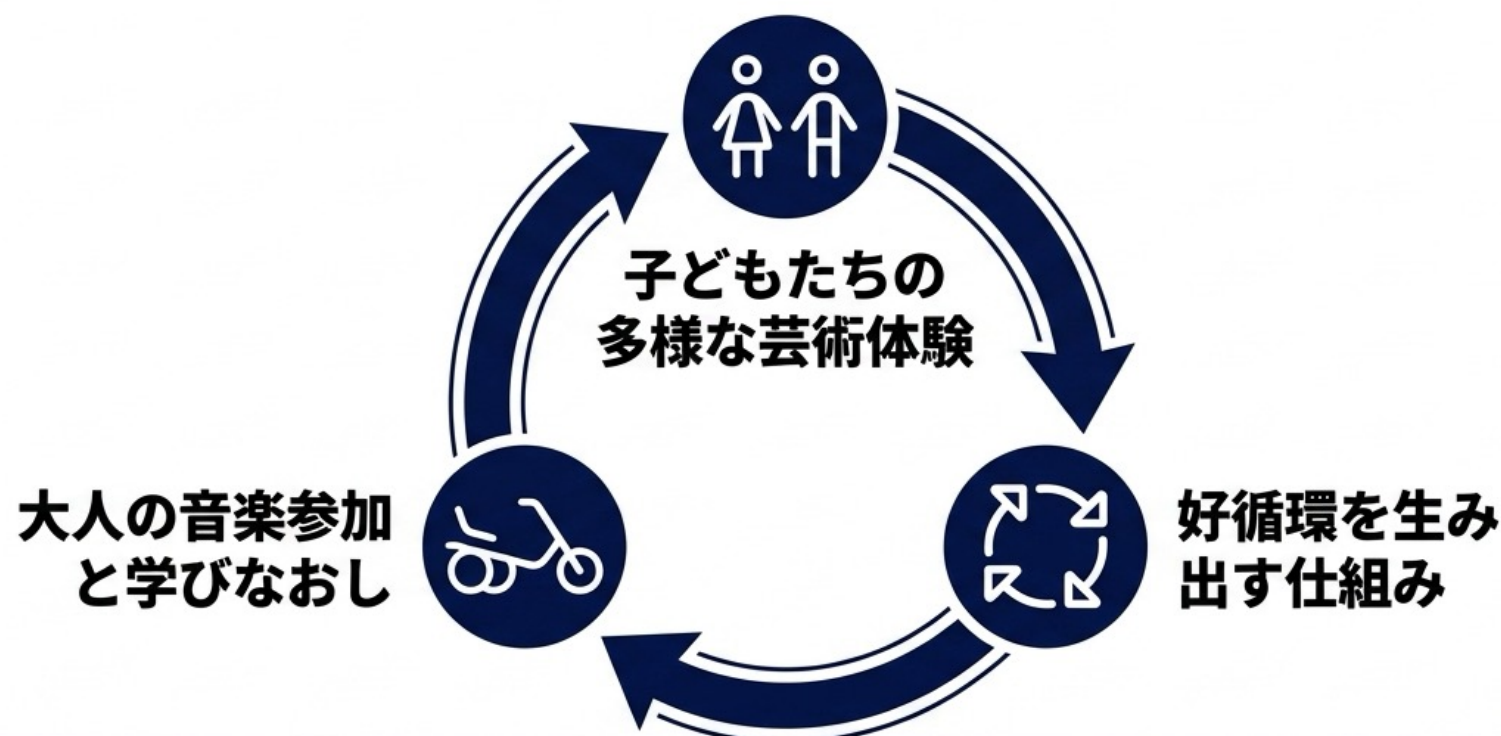
- 【部活動の地域移行】
 - ・ 様々な課題：学校の部活動における地域連携・展開が進むことで、移行期における指導者の確保や活動場所の確保などの課題
 - ・ 将来的にも持続可能な仕組みづくりが求められている。
- 【地域資源の活用】
 - ・ ネットワークや運動の仕組みの不足：地域には多様な音楽人材や文化施設が存在しているが、それらを効果的に活用するためのネットワークや運営する仕組みが不足
 - ・ 眠っている多くの文化資源を発掘し、活性化する取り組みが必要

A serene Japanese garden scene featuring a pond with several koi fish. The background is filled with lush greenery, including various types of trees and plants, some with vibrant autumn colors like purple and yellow. A traditional stone lantern is visible on the left side of the pond.

地域で育む音楽文化の土壌

【世代間交流の促進】

- 音楽活動を通じた世代間交流は地域の絆を深める大きな可能性を持っている
- その機会の創出と継続的な運営には少なからず課題
- 多世代が参加できる音楽プログラムの開発が重要



**【地域で育てる】豊かな音楽環境の構築
総合的な音楽文化の土壌づくりから**

**コミュニティスクール
と音楽活動の融合**

**文化芸術を通じた
地域づくり**

**音楽イベントによる
交流促進**

文化施設を活用した活動拠点

地域の音楽イベントは、
多様な住民の交流の場

**地域の文化施設やホールは、
音楽活動の拠点として重要な役割**

練習場所の提供から発表の機会創出
まで、音楽文化を育む基盤

地域経済との連携

世代や文化的背景を超えた対話と理解を
生み出し、コミュニティの絆を強化

**音楽活動は、地域経済との連携
によって相乗効果**

商店街でのコンサートや地域産業との
コラボレーションなど、文化と経済の
好循環を創出

埼玉県ふじみ野市の取組

音楽文化創造からの委託事業から始まったこと
地域の音楽文化の振興／生涯音楽学習へ向けて発信

【地域文化クラブ】

- ・ 地域が受け皿／学校部活の地域移行
- ・ 子どもたちに様々な体験



令和5年度(2023年度)
文化庁文化部活動改革
への参画

- ・ (部活動の地域移行に
向けた委託実証事業)
- ・ 音楽文化創造より
地域文化クラブ推進
事業を受託

中学・高校の時期は
地域との触れ合いが
なくなる傾向

→地域文化クラブに
より子どもが地域に
戻ってくる可能性

→持続可能な
地域創成に
生涯教育に
繋げたい！

ふじみ野市教育委員会（学校教育課）

- ・市長部局（文化・スポーツ振興課）
- ・文化施設指定管理者

事業推進の環境整備・学校との連絡調整

文京学院大学

専門的知見から事業全体への助言
サポート、研究会講師

ふじみ野市音楽家協会

指導者等の人材提供・育成、
学校等とのコーディネート

ふじみ野市文化協会

地域文化クラブ全体の運営、
事業全体の運営管理、情報発信

地域文化クラブ＜活動の取組＞

- ◎合唱コース
- ◎楽器演奏コース

学校派遣型 / 文化施設会場型

中学生を対象に地域において
持続可能な文化芸術活動を実施

- ・合唱、楽器演奏などの文化芸術体験を通して生徒が将来にわたり文化芸術等に親しむことのできる力を獲得

地域文化クラブの果たす役割

- ・子どもたちのサードプレイス（居場所）づくりにも貢献
 - ・ふじみ野市アーティストにとってもこうした活動場所は楽しくスキルアップを図る場に
- 生徒の人間形成にもよりよい影響を与える

**“各部署をつなぐ人材”がいないと
いろいろ動かない・回っていかない**

➡ 重要なのは 【キーパーソン/コーディネーター】

【ふじみ野市の特性を活用して】

- 活動の経緯：教育委員会に主旨説明等、協力要請
- 教育委員会との連携：市内中学校校長会への働きかけ全面的な「連携体制構築」に尽力
- 文化スポーツ振興課との連携／顧問とのヒアリング

【つなぐ人材の必要性】

**【つなぐ・キーパーソン/
地域音楽コーディネーター】**

●各部署同士の繋がり

●これまでの取組み／これまでの過程の蓄積

**地盤・土台／ベース/
コミュニティスクールの推進**

ふじみ野市文化芸術企画提案型委託事業「ステラ・ウェストホール活用プロジェクト」業務委託

ふじみ野市・文化施設指定管理者との主催

Challenge !!

アートと人 つながる・つどう

ふじみ野市の文化と芸術の更なる発展を目指す

「幅広い世代が交流」「創造性を育む場」 ステラ・ウェストホールの活用

アートと人 つながる・つどう

ふじみ野市文化芸術企画提案型委託事業
文京学院100周年記念

アートと人 つながる・つどう
第1回

コンサート & ワークショップ

100年の感謝をこめて
2024.12.8 SUN

文京学院大学
ふじみ野キャンパス

申し込みはコチラ

ふじみ野キャンパスにキッチンカーがやってくる!

kitchen car

おむすびぼん太 Chopi Rich FUN DAYS

主催:ふじみ野市、ふじみ野市立文化施設指定管理者 日本環境マネジメント株式会社、文京学院大学、文化芸術振興事業実行委員会

ふじみ野市文化芸術企画提案型委託事業
文京学院100周年記念

アートと人 つながる・つどう
第2回

コンサート & シンポジウム

100年の感謝をこめて
2025.3.22 SAT

ふじみ野 ステラ・ウェストホール

申し込みはコチラ
2025年2月1日(日)から受付開始

キッチンカーがやってくる
10:00~16:30

11:00 開場
ステラ・ウェストホールの中に入ってみましょう! ※リハーサルも観られます

13:00~13:30 【みんなのコンサート】 12月8日の第1弾からの継続イベント
■みんなで演奏しよう! (参加者合同演奏会)
吹奏楽曲:『宝島』『営業器和打楽器のためのセレブレーション』『マーチ・スカイブルー・ドリーム』
指揮:阿部 拓也 演奏:イベント参加者・NPO法人ふじみ野市音楽家協会・三芳ウィンドオーケストラ
【挨拶】高畑 博 (ふじみ野市長)

13:30~14:00 休憩 ワインとジュースを販売します! 【V206ふじみ野ワイン】

14:00~15:30 【シンポジウム】
「地域で共に育つ未来 ~おとなとこどもが学びあうことは~」
＜基調講演＞緒形 まゆみ (吹奏楽指導者・元公立中学校教諭) ＜司会＞渡辺 行野 (文京学院大学准教授)
【挨拶】朝倉 孝 (ふじみ野市教育委員会教育長)

15:45~16:30 【文京学院100周年記念コンサート】
■文京学院Presents ミニコンサート ~文京学院大学より感謝を込めて~ 教員3名によるミニコンサートを行います。
演奏:文京学院大学 小林 剛史(フルード)・渡辺 行野(ピアノ)・林 綾乃(ピアノ)
■100人で歌おう! 12月8日の第1弾からの継続イベント 合唱曲:『群青』指揮:東海林 尚文 伴奏:うえだ よう

おからドーナツ えちこや クレープ FUNDAYS ローストビーフ丼 エルノア

お問い合わせ
文京学院大学(100周年記念イベントinふじみ野)
TEL: 049-261-6488
FAX: 049-261-0089
MAIL: info@bgu.ac.jp

アクセス
【ふじみ野駅】西口より徒歩24分/市内循環ワゴンC-D-Eコース、「大井総合支所」バス停より徒歩2分
【ふじみ野駅】西口より東武バス(大井駅南口)乗車約15分、「大井総合支所前」バス停より徒歩2分
【ふじみ野駅】西口より東武バス(上福岡駅東口行き)乗車約10分、「文京学院大学前」バス停より徒歩7分
【上福岡駅】西口より東武バス(大井総合支所前行き)乗車約10分、「大井総合支所前」バス停より徒歩2分

主催:ふじみ野市、ふじみ野市立文化施設指定管理者 日本環境マネジメント株式会社
企画:文化芸術振興事業実行委員会 文京学院大学
後援:NPO法人ふじみ野市音楽家協会 ふじみ野市文化協会

実施目的：文化芸術を媒介とした世代間交流と地域の活性化

文京学院大学とふじみ野市の連携により、大学構内を地域文化の発信拠点として活用

第1回 イベント

タイトル：アートと人 つながる・つどう
(第1回：2024年12月8日)

開催場所：文京学院大学ふじみ野キャンパス

- ・午前の部（体験型ワークショップ）
- ・午後の部（コンサート）

プログラム構成

- ・パシフィックフィルハーモニア東京 弦楽四重奏
- ・小林剛史&渡辺行野 フルートとピアノのDuo
- ・楽器体験（ヴァイオリン、サックスなど10種類）
- ・吹奏楽経験者対象：プロ奏者による個別指導
- ・合唱ワークショップ：「群青」 練習（3月本番に向けて）

成果

- ・文京学院大学学生の地域協働参加
- ・幅広い年齢層の市民の交流と参加と意識向上
- ・「ふじみ野モデル」：ステラ・ウェストを中心とした拠点化へ

第1回 イベント

タイトル：アートと人 つながる・つどう（第1回：2024年12月8日）

開催場所：文京学院大学ふじみ野キャンパス



第2回 イベント

タイトル：アートと人 つながる・つどう

(第2回：2025年3月22日)

開催場所：ふじみ野ステラ・ウェストホール

プログラム構成

- 1.吹奏楽演奏 (中学生＋プロ奏者＋三芳W0)
- 2.シンポジウム 「地域で共に育つ未来
～おとなとこどもが共に学びあることとは～」
地域教育・行政・施設運営側の視点から実践報告
- 3.文京学院100周年記念コンサート：
ピアノ連弾／フルート&ピアノDuo
- 4.合唱フィナーレ：100人で歌おう！
「群青」100人合唱

成果

- ・音楽家・学生・市民が協働する持続可能な文化ネットワークの構築へ
- ・「学び」「創造」「つながり」が循環する地域社会の実現へ
- ・学校・地域・行政の協働による文化振興モデルの確立へ

第2回 イベント

タイトル：アートと人 つながる・つどう（第2回：2025年3月22日）

開催場所：ふじみ野ステラ・ウェストホール



タイトル：2台ピアノと藍が描く『青の世界』（2026年3月26日）
開催場所：ふじみ野ステラ・ウェストホール

- 3月26日、ふじみ野ステラ・ウェストホールで開催された公演『青の世界』（主催:ふじみ野市立文化施設指定管理者 日本環境マネジメント株式会社）に本学が企画協力として参加。
- 本公演は、2台ピアノの演奏と、日本伝統の藍と現代左官を融合させた即興パフォーマンスが共演する、独創性あふれる舞台として開催。
- 当日は、人間学部の渡辺行野准教授がピアニストとして出演し、ラフマニノフやブラームスの作品を情感豊かに演奏。

「青の世界」

タイトル：2 台のピアノと藍左師が創り出す『青の世界』（2026年3月26日）
開催場所：ふじみ野ステラ・ウェストホール



2台ピアノと藍左師が創り出す 『青の世界』

日本伝統の藍と現代左官を世界で初めて融合させた、
初代藍左師守谷氏のアート作品制作実演と2台ピアノが融合した
『青の世界』をお楽しみください！



2026年3月26日(木)

18時30分開演 18時00分開場

2台ピアノコンサート

Rachmaninoff Suite No.2 op.17

Collaboration

Brahms Sonata f-moll op.34b + 守谷氏による即興パフォーマンス
2台ピアノの演奏に合わせてキャンパスを大胆かつ繊細に藍で染め描きます

【会場】 ふじみ野ステラ・ウェスト
ホール（大井総合支所まえ）
【チケット（全席指定）】 一般/2,500円 23歳以下/1,000円
※未就学児入場無料

【販売開始日】2026年2月3日(火)
◆ステラ・イースト/ウェスト窓口 10:00から発売開始
◆オンラインチケットサービス 13:00から発売開始 ▶



学生コンサートモニター50名募集（詳細は裏面にをご覧ください。）

守谷氏の作品展示
（ステラ・ウェストギャラリー）

2026年3月23日(月)
～26日(木)



ふじみ野
ステラウェスト
Fujimino Stella West

【お申込み】

◆ふじみ野ステラ・ウェスト窓口 9:00～21:00（年末年始、第二月曜日を除く）
◆ふじみ野ステラ・イースト窓口 9:00～21:00（年末年始、第三月曜日を除く）
◆オンラインチケットサービス <https://p-ticket.jp/fujimino/>

【主催】

ふじみ野市立文化施設指定管理者
日本環境マネジメント株式会社
【企画協力】
文京学院大学 人間学部 児童発達学科 渡辺行野

音楽で人づくり・まちづくり 経験から見えてきたこと…

地域音楽活動の好循環を創出

Step 1

地域の音楽資源の発掘

- 地域に眠る音楽人材や施設、伝統などを調査し、活用可能な資源として可視化
- 退職した音楽家や教師、使われていない施設など、潜在的な可能性を発見することが第一歩



Step 2

多様な参加機会の創出

- 子どもから高齢者まで、初心者からプロまで、様々な立場の人々が参加できる音楽活動を企画・実施できるシステム
- ジャンルや形態の多様性も重要な要素



Step 3

継続的な支援体制の構築

- 一時的なイベントではなく、持続可能な活動として定着させるための支援体制
- 資金調達、人材育成、広報など、多角的なアプローチが必要
- 音楽活動の成果を地域に還元し、さらなる参加と支援を促す好循環を生み出す
- 地域の誇りと一体感を醸成し、文化的な豊かさを実感できる環境を創り出す
- 地域への還元と波及 → 地域コーディネーターに求められる能力



ご清聴ありがとうございました